

デュオよこすか おすすめBOOK

"ふつう"ってなんだろう？

本を通して、多様な生き方や「自分らしさ」について考えてみませんか？

「緋の河」

桜木紫乃 著

性別や偏見と向き合いながら、芸能の世界で自分らしく生きることを選んだ主人公。波乱に満ちた人生を力強く描く長編小説です。



「孤蝶の城」

桜木紫乃 著

華やかな舞台の裏側にある孤独や葛藤。自分の身体と人生を自ら選び取り、歩み続ける姿に「自分らしく生きる」とは何かを考えさせられる物語です。

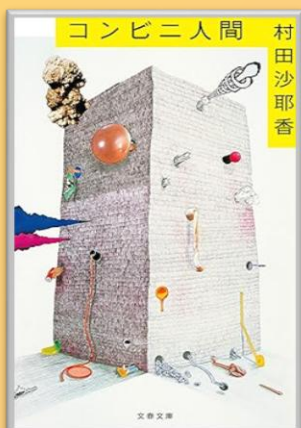




「推し、燃ゆ」

宇佐見りん 著

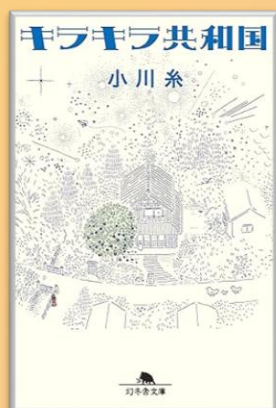
「推し」が生きる理由だった少女。しかし、その存在が失われたとき、自分はどう生きればいいのか…。現代を生きる若者の孤独と生きづらさを描く一冊です。



「コンビニ人間」

村田沙耶香 著

「普通」とは何か、自分らしく生きるとはどういうことか…。コンビニを居場所に生きる主人公を通して、社会の価値観を問いかける芥川賞受賞作です。



「キラキラ共和国」

小川糸 著

手紙に込められた想いが、人と人の心をつないでいく…。大切な人との絆や日々の小さな幸せを、温かな眼差しで描いた心安らぐ物語です。